

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

青梅市まち・ひと・しごと創生～あそぼうよ！青梅プロジェクト～

2 地域再生計画の作成主体の名称

東京都青梅市

3 地域再生計画の区域

東京都青梅市の全域

4 地域再生計画の目標

青梅市では、1970年代頃から人口が大きく増加し、2005年11月には、最も多い140,922人となった。しかし、2005年と2010年の人口の増減の比率が-0.97となるなど、2008年代に入り、多摩26市の中でもいち早く減少局面に突入した。人口減少は様々な消費を減少させ、地域経済にも影響を与えるものと考えられ、市民の約半数が市内の企業等で就業しており、また、高齢化により医療・福祉関係の従業者が求められる中、深刻な人手不足につながる可能性もあり、地域経済の衰退、安定的な財政運営への支障が懸念される場所である。

そこで、人口減少と少子高齢化の抑制、地域経済の持続的発展を大きな課題とし、「子どもを生子・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現」、「青梅に暮らし、働き、訪れる人々にとって魅力あるまちを創出」、「将来を見据えた、安全・安心なまちづくりを推進」の三つの基本目標をかかげ、地方創生に向け、各施策に取り組む。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.08	1.32	基本目標1

	出生数	669人	735人	
	25歳～39歳人口	19,662人	18,560人	
	全国学力・学習状況調査 における家で自分で計画 を考えて勉強している児 童・生徒の割合	小学校 62.7% 中学校 50.9%	小学校 80% 中学校 80%	
イ	法人市民税（現年課税分・調 定額）	1,077,625,600円	1,300,000,000円	基本目標 2
	製造品出荷額	1,862億324 万円	2,234億 4,000万円	
	御岳山年間来訪者数	464,000人	510,000人	
	空家バンク通算掲載件数	5件	10件以上	
ウ	J R 青梅線利用者数 （河辺駅、東青梅駅、青梅駅 の乗降者数）	26,689人	26,900人	基本目標 3
	自治会加入率（特別養護老人 ホーム等入所世帯を除いた 加入率）	39.6% (41.6%)	45% (47%)	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

青梅市まち・ひと・しごと創生～あそぼうよ！青梅プロジェクト～

- ア 子どもを生み・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現する事業
- イ 青梅に暮らし、働き、訪れる人々にとって魅力あふれるまちを創出する事業
- ウ 将来を見据えた、安全・安心なまちづくりを推進する事業

② 事業の内容

- ア 子どもを生み・育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現する事業
子育てに関する相談支援体制や保育環境の充実、時代に即した学習環境の構築など安心して子どもを育て続けられる環境を整備する事業。
- イ 青梅に暮らし、働き、訪れる人々にとって魅力あふれるまちを創出する事業
農・林・商・工業の活性化、魅力あふれる地域資源を生かした情報発信力の強化、住宅施策の推進による定住促進や空家の活用による移住者の増加を図るなど各種産業の振興や青梅に訪れる人の増加を図る事業。
- ウ 将来を見据えた、安全・安心なまちづくりを推進する事業

多様な交通手段への転換や公共施設の効果的・効率的な施設配置など時代に合った都市機能の充実や地域内・地域間の連携促進など、様々な活動を行う団体同士が、主体的かつ継続的に連携し、快適な日常生活と災害時における安心の確保に向けたまちづくりを推進する事業。

※ なお、詳細は第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

225,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後は、速やかに青梅市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで